

殺虫殺菌剤

スタウト® パディート® 箱粒剤

シアントラニリブロール…………… 0.75%
 イソチアニル…………… 2.0%

種類名/シアントラニリブロール・
 イソチアニル粒剤
 登録番号/第23570号(住友化学登録)
 毒性/普通物*
 有効年限/5年
 包装/1kg×12、10kg

特 長

- いもち病と主要な水稻害虫に優れた効果を発揮します。
- は種前から移植当日まで、幅広い使用時期です。
- 稲に対して安全性が高いです。

適用病害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズソウムシ イネドロオイムシ フタオビコヤガ ニカメイチュウ ツマグロヨコバイ イネツトムシ コブノメイガ イナゴ類 穂枯れ (ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 イネヒメハモグリバエ ヒメトビウンカ	育苗箱 [30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ] 1箱当り50g	は種前	本剤 1回 シアントラニリブロール剤 1回 イソチアニル剤 3回 [移植時までの処理は1回、 本田では2回]	育苗箱の床土 又は覆土に 均一に 混和する
		高密度に は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g			
	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱 [30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ] 1箱当り50g	は種時 (覆土前) ～移植当日		育苗箱の床土 又は覆土に 均一に 散布する
		高密度に は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g			

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱 〔30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ〕 1箱当たり50g 高密度には は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当たり 50～100g	は種時 (覆土前)	本剤 1回 シアントラニリブロール剤 1回 インゾチアニル剤 3回 〔移植時までの処理は1回、 本田では2回〕	育苗箱の 上から均一に 散布する
稲	いもち病 イネミズウムシ イネドロオイムシ	1kg/10a	移植時	本剤 1回 シアントラニリブロール剤 1回 インゾチアニル剤 3回 〔直播での場合は種時又は移植 時までの処理は1回、本田 では2回〕	側条施用

使用にあたって

■使用上の注意

- 本剤を床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用してください。また、本剤を処理した床土または覆土を放置しないでください。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾粕として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- ヒメトビウンカに対しては残効性に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。